

地方独立行政法人筑後市立病院

平成27事業年度に係る業務実績に関する評価結果

平成28年8月

地方独立行政法人筑後市立病院評価委員会

委員長 薬師寺 道明

## 目 次

年度評価の方法	1
I 全体評価	1
1 評価結果	1
2 全体評価にあたって考慮した事項	2
II 大項目評価	3
第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	3
(1) 評価結果	3
(2) 判断理由	3
【大項目評価にあたり考慮した事項】	3
(3) 評価にあたっての意見、指摘等	6
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとる措置	7
(1) 評価結果	7
(2) 判断理由	7
【大項目評価にあたり考慮した事項】	7
(3) 評価にあたっての意見、指摘等	8
第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	8
(1) 評価結果	8
(2) 判断理由	8
【大項目評価にあたり考慮した事項】	8
(3) 評価にあたっての意見、指摘等	9
第8 その他法人の業務運営に関し必要な事項	10
(1) 評価結果	10
(2) 判断理由	10
【大項目評価にあたり考慮した事項】	10
(3) 評価にあたっての意見、指摘等	10
○地方独立行政法人筑後市立病院評価委員会委員名簿	11
○平成27年度地方独立行政法人筑後市立病院評価委員会開催経過	11
【参考資料】	
○財務内容改善に関する目標値と実績	12

## 地方独立行政法人筑後市立病院平成27事業年度に係る業務実績に関する評価結果

### 年度評価の方法

地方独立行政法人筑後市立病院評価委員会（以下「評価委員会」という。）では、地方独立行政法人法（平成15年法律第118号）第28条第1項の規定に基づき、平成23年4月1日に設立された地方独立行政法人筑後市立病院（以下「法人」という。）の平成27事業年度に係る業務実績に関する評価を行った。

評価を行うにあたっては、「地方独立行政法人筑後市立病院に対する評価の基本方針」並びに「地方独立行政法人筑後市立病院の年度評価実施要領」（※いずれも平成23年11月7日評価委員会にて決定）に基づき、「項目別評価（小項目評価・大項目評価）」と「全体評価」により評価した。

具体的には、「項目別評価」では、年度計画に定めた事項ごとに法人による自己評価をもとに、ヒアリング等を通じて、自己評価の妥当性や年度計画に照らし合わせた進捗状況を確認した。また、「全体評価」では、項目別評価の結果等を踏まえつつ、病院改革の取組みなども考慮しながら、中期計画等の進捗状況について総合的な評価を行った。

## I 全体評価

### 1 評価結果

平成27事業年度に係る業務実績に関する評価について、「市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」、「業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとる措置」、「財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置」の3つの大項目において、A評価（中期目標・中期計画の達成に向けて計画どおりに進んでいる）が妥当と判断した。

具体的には、医療サービスの向上において、ICUから地域包括ケア病棟と幅広い体制の継続に併せて、災害拠点病院の指定に向け準備を行い指定を受けることが出来た。また、産婦人科医の確保により自然分娩の受け入れが可能となったり、臨床工学技士や臨床心理士を配置し医療体制の充実を図っている。一方では、医師や看護師の認定等資格取得も積極的に行い診療機能の向上に努めている。

中期計画・年度計画の着実な達成に向けて、行動計画を見直し、戦略テーマを1つから3本柱とし、これらを全職員で共有、全部門が目標達成に向けて取り組んでいる。

財務内容については、法人移行5年連続黒字経営で、経営基盤の安定化が図られている。収益面において、病床管理委員会により病床管理を行うことで病床利用率上昇に繋がっている。費用面では、院外コンサルタントの活用やジェネリック医薬品の使用率向上を図り、費用の節減に取り組んでいる。決算額としては、2億8,176万円の黒字となっており、努力をしているものと判断する。

このようなことから、平成27事業年度に係る業務実績としての全体評価は、「中期目標・中期計画の達成に向けて計画どおりに進んでいる」と評価する。

なお、第8「その他法人の業務運営に関し必要な事項」の大項目については、第1「市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」の大項目に類似項目があるため、全体評価の対象から除外した。

## 2 全体評価にあたって考慮した事項

- (1) 「市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」の大項目では、災害に対する備えとして災害拠点病院指定に向けた準備を進め、平成28年4月1日に指定を受けた。また、防災訓練において、DMATチームの参加や院内トリアージ訓練を行っている。

医療サービス向上として、社会福祉士の増員や病棟担当支援者の明確化により退院支援の強化を図ることで支援者は増加している。

紹介率は目標には達しなかったが、紹介率・逆紹介率は、継続的に上昇している。

周産期医療体制について、産婦人科医の確保を行い、自然分娩再開に向けてプロジェクトを発足させ、自然分娩の受け入れが出来ている。

患者サービスの向上として、再来受付機やクレジットカード決済の導入を行っている。

これらのことから、大項目評価としては、A評価（中期目標・中期計画の達成に向けて計画どおりに進んでいる）と判断した。

- (2) 「業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとる措置」の大項目では、「災害・防災対策委員会」を新しく発足させ、効率的・効果的な運営管理体制を維持している。

中期計画・年度計画の着実な達成に向けて行動計画を見直し、戦略テーマや重要成功要因や目標値などを全職員で共有している。

経営戦略検討会議において、年度計画や行動計画の半期での進捗状況確認を行い、PDCAによる目標管理強化を図っている。

新たな人事制度の運用では、一般職員に対してのトライアル導入の継続中において評価者研修を実施している。

これらのことから、大項目評価としては、A評価（中期目標・中期計画の達成に向けて計画どおりに進んでいる）と判断した。

- (3) 「財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置」の大項目では、収益の確保と費用の節減として、保険診療委員会及びDPC適正化委員会を活用し、医師事務作業補助体制加算の変更によりDPC係数をあげ、収益につながっている。

薬品、診療材料、高額医療機器の購入では、コストの削減・適正化に取り組み、診療材料において、約350万円の削減が出来ている。また、医薬品においては、基準薬価比で総額1億670万円の値引きと併せてジェネリック医薬品使用率は、91.5%と前

年比 14.8 ポイント伸びている。

これらのことから、大項目評価としては、A評価（中期目標・中期計画の達成に向けて計画どおりに進んでいる）と判断した。

## II 大項目評価

### 第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標達成するため とるべき措置

#### (1) 評価結果

A評価（中期目標・中期計画の達成にむけて計画どおりに進んでいる）

#### (2) 判断理由

小項目評価の集計結果（第2表小項目評価の集計結果を参照）より、「5」の評価を付けたものが7項目、「4」の評価を付けたものが9項目、また、「3」の評価を付けたものが1項目ある。

また、平成26年度から「3」の評価が2項目減り、「5」の評価が1項目増えている。

全体として計画の達成に向けて計画どおりに進んでおり、大項目の評価としては「A」評価が妥当であると判断した。

#### (第1表 大項目の評価方法)

大項目評価は、小項目評価の結果、各重点項目の達成状況並びに特記事項の記載内容等を考慮し、大項目ごとに中期目標・中期計画の達成に向けた業務の進捗状況について、次の5段階による評価を行う。（地方独立行政法人筑後市立病院の年度評価実施要領3（1））

S：中期目標・中期計画の達成に向けて特筆すべき進捗状況にある

A：中期目標・中期計画の達成に向けて計画どおりに進んでいる

B：中期目標・中期計画の達成に向けておおむね計画どおりに進んでいる

C：中期目標・中期計画の達成のためにはやや遅れている

D：中期目標・中期計画の達成のためには重大な改善事項がある

#### 【大項目評価にあたり考慮した事項】

① 小項目評価が「5」（計画を大幅に上回る）の項目は、次の7項目であった。

##### ア 患者と一体となったチーム医療の実践

インフォームド・コンセントに関して、患者が解りやすい説明となるよう見直しを行い対応している。また、スタッフの充実により退院支援強化を図ることで、退院支援患者数の増加に繋がっている。

##### イ 保健機関との連携

健診実績は、前年比 5.8%増加している。また、市が開催するイベントにおいて

ブースを設置したり、病院広報誌に住民検診の記事を掲載するなど健康増進活動に取り組んでいる。

ウ 医療スタッフの確保

自然分娩の再開により、助産師含めて10名の看護師の確保が出来ている。また、臨床工学技士を1名増員し3名体制となっている。

職員のメンタルヘルス対応のため臨床心理士を1名配置したり、子育て中の職員が就労しやすいように制度を充実するなど、就労環境整備によりスタッフ確保に努めている。

エ 高度医療機器の計画的な更新・整備

災害拠点病院の申請や自然分娩の再開に伴い、一般撮影装置システム、回診用（ポータブル）X線撮影装置システム、多用途筋機能評価運動装置、全身麻酔器、閉鎖型保育器、産科吸引器など10種類の医療機器を整備している。

オ 患者満足度の向上

院内アンケートによる満足度は、入院97.5%、外来94.3%と計画を入院2.5ポイント、外来4.3ポイント上回っている。

調査結果については、マナー向上委員会で対応を協議し、再来受付機やクレジットカード決済の導入など、患者の要望に応える形での対応を行っている。

カ 医療安全対策の徹底

インシデント報告の分析を通して、マニュアルを改定することで医療安全対策の徹底を図っている。その結果インシデント報告総数が745件で、内0レベルが155件、1レベルが437件と有害事象が早い段階で発見出来ている。

キ 市民への情報提供

病院ホームページの更新を定期的に行い、アクセス数が大幅に増加している。広報誌「いずみ医師紹介号」の発行回数を増やしたり、病院案内をリーフレットからパンフレットにするなど大幅な見直しも行っている。

また、地域の要請に応じて、要望や季節に合わせて健康講座を実施したり、地域の学生の体験学習の受け入れを行ったりと多職種が連携して保健医療情報の発信及び普及啓発に取り組んでいる。

② 小項目評価が「4」（計画を順調に実施している）の項目は、次の9項目であった。

ア 救急医療体制の充実

資格取得として、ACLS：1名、BLS：4名、ファーストエイド：2名の実績があり救急体制強化を図っている。平成26年8月運用開始のICUは平均患者数3.4人/日で重症度88.4%と救急医療の対応に繋がっている。一方で、救急車応需率が前年比2.1ポイント減少しているため、断った症例に対し、対策を検討している。

#### イ 診療機能の整備

専門医制度における専門研修基幹施設となるため、地域包括医療・ケア認定医を5名が取得した。

また、臨床心理士を新たに配置し、リエゾン、心理面接、心理検査など介入を行い、医療サービスの充実に取り組んでいる。

#### ウ 地域医療機関との連携

病診連携会議及び病診連携懇談会の開催に併せて、連携医療機関を訪問し、問題点や要望等のヒアリングを行っている。

また、在宅療養後方支援病院の登録に取り組み、入院患者数が増加している。

#### エ 小児医療・母子医療の取組み

周産期医療体制において、産婦人科医を確保し、自然分娩受け入れプロジェクトを発足させ医療機器の購入や人員体制などの環境整備を行い4例の分娩受け入れを行った。

#### オ 災害時における医療協力

災害拠点病院としての指定に向け、備品や備蓄品等の整備、災害対策マニュアルの改定、関係団体との協定締結を進め、指定申請を行うに至った。

また、市の防災訓練に参加することと併せて、八女地区総合防災訓練にDMA Tチームが参加した。

#### カ 患者の利便性及び院内環境の向上

患者の利便性向上のため、診察受付に対し再来受付機を導入し、医療費支払いに対しクレジットカードによる医療費支払いの本運用を開始した。

院内環境整備について、ナースコールの設備更新により電子カルテと連動され、必要な情報が速やかに反映されることで患者サービス向上に繋げている。

#### キ 職員の接遇向上

苦情やお礼の言葉に対して、意見回収後該当部署へ報告を行い、回答依頼するよう変更した。また、意見箱回収頻度を月1回から週1回へと変更し、早い段階での対応ができるようにしている。

また、全職員対象の「クレーム対応研修」を2日実施したことで、参加率が上昇している。

#### ク 病院機能評価の更新

平成28年9月までに日本医療機能評価 3rdG Ver. 1.1 の認定審査に向け、項目ごとの回答責任者を定め、院内監査を実施した。また、新規の委員会（災害・防災対策委員会）を発足させ対応強化を図っている。

#### ケ 法令・行動規範の遵守（コンプライアンス）

福岡県南筑後保健福祉環境事務所による立入検査での改善事項の指摘等はなく、業務運営は適正な状態である。

電子カルテにおいて、ログイン後の一定時間無操作時の再パスワード入力やパスワードの定期更新の義務化など病院全体の意識の強化、個人情報保護の体制強化を行っている。

③ 小項目評価が「3」（計画を下回るが、計画に近い）の項目は、次の1項目であった。

ア 地域包括ケアシステムの構築

訪問看護の実績が、240件で前年比109件増ではあるが目標達成に至っていない。大腿骨頸部骨折パス会議における維持期患者への取組みや自宅退院に向けたケアカンファレンスの開催、在宅ケア研究会への参加などにより、保健・介護・福祉行政との情報交換など他機関との連携強化を図っている。

第2表 小項目評価の集計結果

分野	評価対象項目数	1計画を大幅に下回る	2計画を下回る	3計画を下回るが計画に近い	4計画を順調に実施している	5計画を大幅に上回る
医療サービスの向上	8			1	5	2
医療機能提供体制の整備	2					2
患者サービスの向上	3				2	1
信頼性の確保	4				2	2
合計	17			1	9	7

※法人の自己評価に対して、異なった評価となった項目はなかった。

(3) 評価にあたっての意見、指摘等

ア 現在の患者満足度アンケート調査の実施では、アンケートの満足度の数値が高いため、改善の余地がなくなる。不満の内容を聞き取るようなアンケート内容や評価方法の検討が必要である。

イ 災害拠点病院の指定を受けたことは大きく評価できる。

## 第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとる措置

### (1) 評価結果

A評価（中期目標・中期計画の達成に向けて計画どおりに進んでいる）

### (2) 判断理由

小項目評価の集計結果（第3表小項目評価の集計結果を参照）より、「5」の評価を付けたものが2項目、「4」の評価を付けたものが1項目あり、計画の達成に向けて計画どおりに進んでおり、大項目の評価としては「A」評価が妥当であると判断した。

### 【大項目評価にあたり考慮した事項】

#### ① 小項目評価が「5」（計画を大幅に上回る）の項目は、次の2項目であった。

##### ア 効率的・効果的な運営管理体制の構築

平成27年度は災害拠点病院の準備も含めて「災害・防災対策委員会」を新たに発足させるなど必要な見直しを行なっている。

また、中期計画・年度計画の着実な達成に向けて行動計画書を見直し、「救急・災害対応強化」、「病院機能の充実」、「地域連携強化」の3本柱にし、より包括的なものとなった。

さらに、継続的な「病院運営委員会」の開催により、収支や患者数、手術件数等の情報を病院全体で共有し対応した。平成27年度から、年度計画や行動計画の半期での進捗状況確認を行なうとともに、開設後1年となる地域包括ケア病棟のレビューも行ない、PDCAによる目標管理を強化した。

##### イ 計画的な研修体系の整備

診療部においては消化器外科学会指導医、脈管学会専門医、放射線科専門医、泌尿器科学会専門医、呼吸器学会指導医などのほか、地域包括医療・ケア認定医の資格を取得した。

看護部門では救急関連のプロバイダーや医療安全管理者、専門指導士・認定士などを取得した。各部門ともに専門性、医療技術の向上に向け活動を継続している。

#### ② 小項目評価が「4」（計画を順調に実施している）の項目は、次の1項目であった。

##### ア 新たな人事制度の運用

給与制度の見直しについては継続して検討を重ね、幹部職員の人事評価結果を役職手当に反映した。一般職の人事評価は平成26年度に引き続きトライアルとして実施した。一般職への本格導入に向けては評価者スキルの向上が課題であるため、平成27年度は管理職を対象に、4回で延べ6時間の評価者研修を重点的に実施した。

第3表 小項目評価の集計結果

分野	評価対象 項目数	1計画を 大幅に下 回る	2計画を 下回る	3計画を 下回るが 計画に近 い	4計画を 順調に実 施してい る	5計画を大幅 に上回る
法人としての 運営管理体制 の確立	3				1	2
合計	3				1	2

※法人の自己評価に対して、異なった評価となった項目は、次の1項目となった。

- ・「新たな人事制度の運用」（自己評価「5」⇒「4」）

(3) 評価にあたっての意見、指摘等

ア 新たな人事制度の運用において、年度計画では、一般職への人事評価制度の本格的な運用を目指すとなっていたが、トライアルとしての実施に留まっている。

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

(1) 評価結果

A評価（中期目標・中期計画の達成に向けて計画どおりに進んでいる）

(2) 判断理由

小項目評価の集計結果（第4表小項目評価の集計結果を参照）より、「5」の評価を付けたものが1項目、「4」の評価を付けたものが2項目あり、計画の達成に向けて計画どおりに進んでおり、大項目の評価としては「A」評価が妥当であると判断した。

【大項目評価にあたり考慮した事項】

- ① 小項目評価が「5」（計画を大幅に上回る）の項目は、次の1項目であった。

ア 収益の確保と費用の節減

全ての病棟を安定的に運用するために、月1回の病床管理委員会と毎週の病床管理ミーティングにより病床管理を行ない、病床利用率は、病院全体で81.5%と前年度を6.6ポイント上回った。

薬品、診療材料、高額医療機器の購入については院外コンサルタントを活用し、コストの削減・適正化に取り組んだ結果、診療材料の削減効果は約350万円、医薬品では、基準薬価比で総額1億670万円の値引き実績となった。

また、ジェネリック医薬品の使用率が、76.7%（H26）が91.5%（H27）へと14.8ポ

イント増加した。

② 小項目評価が「4」（計画を順調に実施している）の項目は、次の2項目であった。

ア 役割と責任、負担の明確化

運営負担金については、総務省通知の地方公営企業繰出基準に基づき市から全額繰入を行なっている。

筑後市からの運営負担金は 388,685 千円であり、繰入後の経常黒字が達成できている。

イ 将来の設備投資に向けた財源の確保

将来の病院建替えや高度医療機器の更新に向け、総利益 2 億 8,177 万円を建設改良積立金に積み立てた。

第4表 小項目評価の集計結果

分野	評価対象 項目数	1 計画を 大幅に下 回る	2 計画を 下回る	3 計画を 下回るが 計画に近 い	4 計画を 順調に実 施してい る	5 計画を大幅 に上回る
安定した経営 基盤の構築	3				2	1
合計	3				2	1

※法人の自己評価に対して、異なった評価となった項目はなかった。

(3) 評価にあたっての意見、指摘等

特になし。

## 第8 その他法人業務運営に関し必要な事項

### (1) 評価結果

A評価（中期目標・中期計画の達成に向けて計画どおりに進んでいる）

### (2) 判断理由

評価対象項目は1項目で、「4」の評価とした。全体として計画どおり進んでおり、大項目の評価としては「A」評価が妥当であると判断した。

### 【大項目評価にあたり考慮した事項】

① 小項目評価が「4」（計画を順調に実施している）の項目は、次の1項目であった。

#### ア 医療情報の提供

公表する臨床指標の検討と選定を終え、平成28年度にホームページに掲載することとなった。

また、厚生労働省の補助事業である「医療の質の評価・公表等推進事業」に採択されている全国自治体病院協議会、全日本病院協会の各事業に参加しており、指標の公開を始めている。

### (3) 評価にあたっての意見、指摘等

特になし。

○地方独立行政法人筑後市立病院評価委員会 委員名簿

	氏 名	役 職 等
委員長	薬師寺 道明	久留米大学 名誉学長
委員	丑山 優	九州情報大学 経営情報学部長
	植田 清一郎	植田病院 院長
	柿添 有二	前八女筑後医師会第5部会 部長
	鎌田 久美子	福岡県すこやか健康事業団 福岡国際総合健診センター長

○平成28年度地方独立行政法人筑後市立病院評価委員会開催経過

日 程	審 議 議 題
第1回 平成28年7月15日(金) 筑後市役所東庁舎302会議室	①地方独立行政法人筑後市立病院平成27年度財務諸表等について  ②地方独立行政法人筑後市立病院平成27事業年度に係る業務実績報告書について
第2回 平成28年7月21日(木) 筑後市役所東庁舎302会議室	①地方独立行政法人筑後市立病院平成27事業年度に係る業務実績に関する評価(小項目)について  ②財務諸表の承認の際の意見について
第3回 平成28年8月4日(木) 筑後市役所東庁舎302会議室	①地方独立行政法人筑後市立病院平成27事業年度に係る業務実績に関する評価について 1) 小項目評価について 2) 大項目並びに全体評価(案)について  ②財務諸表に関する意見書(案)について

○財務内容の改善に関する目標値と実績

指標	平成 25 年度 実績	平成 26 年度 実績	平成 27 年度 計画	平成 27 年度 実績
経常収支比率 *1	106.9%	108.0%	106.2%	105.7%
医業収支比率 *2	101.6%	103.7%	104.3%	104.3%
職員給与費比率 *3	59.3%	57.2%	56.4%	54.5%
材料費比率 *4	18.3%	18.2%	18.1%	22.4%
入院単価	45,338 円	46,200 円	47,125 円	44,883 円
病床利用率 *5	68.6%	74.9%	83.0%	81.5%
平均在院日数(7:1 病棟)	12.9 日	12.8 日	12.0 日	13.5 日
外来単価	10,855 円	11,407 円	11,505 円	14,304 円

\*1 経常収支比率 = (営業収益 + 営業外収益) / (営業費用 + 営業外費用)

\*2 医業収支比率 = 医業収益 / 医業費用

\*3 職員給与費比率 = (医業費用中の給与費 + 一般管理費中の給与費) / 医業収益、(出張医報酬含む)

\*4 材料費比率 = 材料費 / 医業収益

\*5 病床利用率 = 在院患者延数の合計 / (年間日数 × 病床数)